



「昨日より、いい歌へ」・・・いよいよ明日

学校長 小木曾敏樹

明日はいよいよ楽しみにしていた「歌声交流会」本番です。全校合唱を含め、全13曲が発表されます。子どもたちの一生懸命な姿、元気な歌声、思いを込めた歌を、どうぞ楽しんでください。そして、精一杯の拍手でほめてあげてください。ほめるに値する素敵なステージになることを、確信しています。

中学校では、「合唱祭」という名称で各学校行っていますが、小学校では南小学校だけが行っているようです。1年生は1年生の、6年生は6年生の、発達段階に応じた歌を、発達段階に応じた歌声で歌います。6年間の成長がわずか2時間余りのステージで確認することができるはずです。6年生の保護者の皆さんは、5年前はこんなに小さくて可愛かったんだと、我が子の成長を振り返り、1年生の保護者の皆さんは、2年、4年、6年と、こんな風に成長していくのかと、これからの成長を想像しながらご覧いただけるのではないのでしょうか。

歌声は、嘘がつけません。ごまかしようがありません。心が安定しない学年・学級ならば、歌も勢いはありません。心が解放されていない学年・学級ならば、声も口も小さいはずです。学校生活や学年・学級の間人間関係、子どもたちの成長や現在の心のあり様など、全てが歌で分かっけてしまいます。その場だけ取りつくろうように歌うことなどできません。ステージの立ち姿、表情、歌声、表現、全てがうそ偽りのない今の子どもたち自身を表しています。その日だけ良い子を演じられる授業参観よりも、子どものことがよく分かる授業参観になるはずです。

歌をまだ聴いていない、ステージをまだ見ていない保護者の方に、こんなことを伝えるのも何なのですが、・・・素敵です。いいです。楽しめます。感動します。私はもう何回も感動をもらいました。1年前、2年前と、過去の子どものことを知っている私だからこそ、今の姿や歌声により感動を覚えてしまいます。子どもの成長は、比例グラフのように成長していく子もいれば、上がったたり下がったりを繰り返しながら成長する子もいます。ジャンプの前に体を沈み込ませるように、大きなへこみがあって大きな成長をする子もいます。そんな個々の成長を思い出しながら観るステージ、聴く歌は、間違いなく「感動」です。





ルールを守り、互いに配慮し合って参観を

10月の運動会が終わった後、保護者の方からこんなメールをいただきました。

【運動会の撮影席について】 本日、楽しみにしていた運動会でした。我が子も然り、他所のお子様の頑張る姿も楽しみにしていましたが、撮影の優先席で目の前に立たれてしまい、見えない競技が殆どで、非常に残念でした。他所の学校は、撮影される方は後ろに配慮して上体を低くし、日傘を閉じ、撮影されるのが通例とのことですし、非常に驚くと共に大変残念でした。最後の最後に教頭先生からご注意いただきましたが、遅すぎたと思います。

学校としては常識的に立って撮影されることなどないだろうというお考えだったかもしれませんが、来年以降は、撮影席では立たない旨を最初からきちんとご注意いただければと思います。子供達はこの日の為に一生懸命に頑張ってきたことでしょう。子供達には素晴らしい時間をありがとうと伝えたいです。

運動会については、始まる前にも教頭より、周りに配慮いただくようアナウンスをさせていただいております。狭いグラウンド故、全てのお子さんの競技を見ていただくことは諦めていただき、我が子の出番だけご覧いただくつもりで計画し、ご案内させていただいております。

しかし、少しでもまわりにご配慮いただければ、ありがたかったなとは思っています。

参観日には、第二中学校グラウンドではなく、道路やプール横など指定外のところに駐車されていた方がいたとの情報が学校に届きました。

「歌声交流会」については、駐車場は南小学校グラウンドのみ、時間厳守でお願いします。座席は指定席です。撮影は座席で座ったまま、後ろや周りの方々にご迷惑にならぬようお願いいたします。子どもたちの素敵なステージを全ての方に気持ちよく見ていただきたいと思います。